

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (東海)		商店街（代表者）	お客様の様子	・いつかは終わるが、足元では、米国の新大統領による影響で景気はどんどん良くなっている。
		一般レストラン（従業員）	販売量の動き	・来客数は増えており、客1組当たりの注文量も増えている。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・年明けからの客足の良さが順調に契約に結び付いている。少しずつ購買意欲は高まっているが、消費税の増税を意識している様子も見受けられる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・伊勢志摩サミットの効果はやや弱まっているが、雪による交通障害があっても前年並みの来客数を確保している。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・年度末が近づき、予算消化の駆け込み需要が増加している。
		百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・バレンタインデーの催事の売上は前年を大きく上回った。プレミアムフライデーも来客数や売上は増加し、一定の効果が出ている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・節分のキャンペーンでは太巻き寿司が非常によく売れた。商品全般をみても、買い控えは感じられない。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・このところ天候に恵まれ、野菜や果物の価格が安定しており、買い控えの様子は見られない。
		スーパー（店員）	来客数の動き	・来客数が増加している。買物の様子も、買い控えはせず必要な物は買うようになってきている。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・客1人当たりの買上点数は増加し、購入金額も上昇している。
		スーパー（販売担当）	それ以外	・売上、来客数、客単価のすべてが前年同期を上回っている。
		スーパー（ブロック長）	販売量の動き	・単価の高い商品の動きがまずまずで、客単価を維持している。客は、金を支払う価値があると感じる商品には、金を使っている。
		コンビニ（企画担当）	それ以外	・数字としては横ばいであるが、インバウンドは引き続き増加している。他業種では24時間営業の中止や宅配便サービスの見直し等、景気回復に伴う人手不足が続いている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・売上、来客数は前年同期比で1.5%改善している。販売エリアでの商品政策が当たり、関連キャンペーンの効果が表れている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・パソコンがよく売れている。洗濯機もやや高め機種が人気である。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車の売行きが良い。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・前月から下見客が増え、新規購入客も増えている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・例年、2月は新車販売台数が増えるが、今年も例年並みで推移している。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・2月は問い合わせ件数、アクセス件数共に増加しており、全体的に動きは良い。この動きは3月にもつながる。
		高級レストラン（役員）	来客数の動き	・客単価は前年同期を若干下回っているが、来客数の増加がそれを補っている。毎年恒例の期間限定割引イベントも、前年実績を上回る集客となっている。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・客単価が上がっている。財布のひもはやや緩んでいる。	
	都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・宿泊部門の売上は前年同期比で減少しているが、レストラン部門では、個人客がお得感のある企画へ敏感に反応している。	
	都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・製造業の客を中心に年度末に向けて駆け込み需要が増えている。企業の宴会利用は、3か月前と比べると10%アップしている。	
	通信会社（サービス担当）	お客様の様子	・転居の際に携帯電話、固定電話、テレビやインターネットの契約をひとまとめにする客が増えており、光回線の新規申込や携帯コラボ商品の申込が増加している。	
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・年度末が近くなり、3か月前と比べると売上がやや良くなっている。	
	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	来客数の動き	・企画列車の本数が若干増加している。インバウンドの予約も入っている。	

美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・紫外線を気にする客が増えており、ケア商品の売行きが良い。
その他サービス [介護サービス]（職員）	競争相手の様子	・前年から本年に入ってから、ハローワークや求人広告等に求人依頼をしても人材確保が一層困難となっている。求職者が、より有利な条件で働ける職場を選択できる状況となっている。
商店街（代表者）	お客様の様子	・若い世代では特に節約志向が強い。
商店街（代表者）	販売量の動き	・例年2月は売上の少ない時期であるが、今年は、販売量、販売単価共に低調な状態が続いている。
一般小売店 [生花]（経営者）	販売量の動き	・家族葬が増えて、花を使う祭壇等はかなり減少している。ギフト商品はまずまずの売上で、スーパーも前年並みの売上を維持している。プレミアムフライデーの効果は何もない。
一般小売店 [薬局]（経営者）	来客数の動き	・年明けのバーゲンセールは年々売上が落ち、天候不順も重なり今年はこのテナントも厳しい状態が続いている。2月も前半は1月同様に悪かった。年金支給日以降の来客数は伸びてきたが、後半はまた落ち込んでいる。インフルエンザの流行と通院患者で調剤部門は伸びているが、全般としては横ばいである。スーパーの食品コーナーをみると、相変わらず活況である。
一般小売店 [贈答品]（経営者）	お客様の様子	・2月はあまり商品が動かない。2つの客層がバランスして売上は横ばいであるが、構成が変わっている。贈答品をたくさん利用する会社や客が一部にはあるが、大半の客は財布のひもが固く、交友範囲をできるだけ絞っている。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・平日の昼間でも来店する人は多い。かなり使い古した靴を履いている人もいるが、クリアランスセールの期間を聞いて出直し、すぐには購入しない。休日は家族連れの出店が多いが、買物をするというより見るだけという雰囲気、売上に結び付かない。
百貨店（経理担当）	販売量の動き	・美術品や呉服関連等、一部に好調な商品はあるが、全般的に不調が続いている。
百貨店（経理担当）	お客様の様子	・初めてのプレミアムフライデーは、今一つ盛り上がり欠け、消費を喚起する材料は見当たらない。
百貨店（販売担当）	販売量の動き	・バレンタイン商戦は好調だったが、主力の衣料品の不振は変わらない。高額所得者の消費もやや低調に推移している。うるう年の前年と比べると1日減った分厳しくなっている。
百貨店（計画担当）	来客数の動き	・前月に続いて来客数は前年同期を上回っている。高額商品にも引き続き動きがみられる。
百貨店（販売担当）	単価の動き	・2月前半は販売量が伸びたが、低単価傾向で売上は微増である。後半はギフト需要、自家需要や高額品の動きも出ている。インバウンド需要が前月から続いており、結果として今月も前年比で120%となっている。
スーパー（経営者）	販売量の動き	・来客数は増えているが、販売量の増加にはつながっていない。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・地域の幹線道路は例年2月末の金曜日に非常に混雑するが、今年は景気があまり良くないのか、あまり混雑はしなかった。自動車等の高額商品は売行きが悪いため、大幅な値引きで販売数を増やす努力をしている。
スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・2月も店舗売上は前年同月比93%となっている。プレミアムフライデーが始まったが、想定範囲内で大きな変化はない。今月は天候不良もあり、衣料や住居関連商品が足を引っ張っている。
スーパー（営業企画）	お客様の様子	・米国の情勢が不透明で景気の先行きが読めないことが消費者心理にも影響し、堅実な消費が続いている。特に製造業が中心の当地域においては顕著である。
スーパー（企画・経営担当）	販売量の動き	・恵方巻の売上は前年より好調であった。バレンタインデーのチョコも前年よりも売上が増え、イベント関係の商材に関しては売行きが良い。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・商品の供給を増やしているが、販売量は伸びない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・決算期が近づいているが市場は盛り上がり欠ける。新型車種への関心はそれなりに見受けられるが、購入決定までは至らない。客の財布のひもはまだ固い。

	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・売上の動きは、ほぼ想定の範囲内である。良くも悪くもなっていない。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・販売量、新規来客数共に目標の8割程度で、決算期のにぎわいを感じられない。前年実績も下回り厳しい状況が続いている。車検等、工場への在庫量は前年同期を上回っており、良い状況である。
	住関連専門店 (営業担当)	単価の動き	・新築マンション、戸建住宅共に減少が続いている。民間設備投資やビル関係の需要も少なめである。リフォームや大規模改修等については、引き続き増加傾向である。
	その他専門店 [雑貨](店員)	来客数の動き	・来客数が伸びない。
	その他専門店 [雑貨](店員)	単価の動き	・客は商品の価格変動をよくみている。
	その他専門店 [貴金属](営業担当)	単価の動き	・春が近くなり商品の動きは多少良くなっている。商品を見に来る客は増えているが、値段を聞いて少し考える客が多く、大幅な売上増加には、なかなかつながらない。
	その他小売 [ショッピングセンター](経理担当)	販売量の動き	・売上高は、前年比で2.7%のマイナス、来客数は同じく4.9%のマイナスとなっている。
	一般レストラン [パン・カフェ](経営者)	販売量の動き	・売上は、前年同月比でほぼ横ばいである。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・店が郊外にあるためなじみ客が多く、新規客の増加が見込めない。
	その他飲食[仕出し](経営者)	単価の動き	・米国の新大統領の影響は、良い面も悪い面もある。
	旅行代理店(経営者)	単価の動き	・高齢者層はモノからコト消費に移り、旅行商品に関してもそれなりの消費があるが、若年層については、消費が伸びる気配が見受けられない。
	旅行代理店(経営者)	単価の動き	・春休み、ゴールデンウィークから夏休みの問い合わせは増えている。どちらかという観光メインで宿泊先にはあまりこだわらず、少しでも安価に宿泊したいという声が多い。ハネムーンやビジネスクラスを利用する層は、ホテルにもこだわりが感じられる。
	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・プレミアムフライデーに合わせて、店頭では1.5泊の旅行商品等を強化したが、効果はゼロだった。これから浸透して販売促進につながるかを見守りたいが、中小企業ではそれほど早帰りを実施しておらず、期待はしづらい。
	タクシー運転手	お客様の様子	・心配していた米国の新大統領との首脳会議の結果は良好で、大手自動車会社に関係する客は、引き続き当地にも多く来訪している。日柄の良い週末には結婚式も多く、今月も、引き続き堅調である。
	タクシー運転手	単価の動き	・例年、2月と8月の飲食店街は静かになるが、今年も例年どおり静かである。
	タクシー運転手	お客様の様子	・客の会話では、収入減の話題をよく耳にする。
	通信会社(企画担当)	販売量の動き	・当地では大河ドラマの効果で関連商品が次々と発売され、観光や土産物等は活気を感じるが、当社のサービス利用に関しては、例年の2月と大差がない。
	通信会社(営業担当)	お客様の様子	・安価な商品へと流れていた客の動きが落ち着いてきている。
	テーマパーク職員(総務担当)	販売量の動き	・施設への来客数は伸びているが、施設内での売上金額は伸びていない。
	ゴルフ場(企画担当)	来客数の動き	・2月は雪や雨の影響が大きく、来客数、予算共に前年同期比で減少している。3か月前もあまり良くなかったのが業況としては横ばいである。前月までの2か月間は上向きであったので、来月以降はやや回復すると期待している。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・販売量には変化がない。建築現場では、業者や現場監督の不足感が見受けられる。
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・リフォーム物件の依頼はそこそこあるが、新築注文住宅の依頼がない。

	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕(経営者)	お客様の様子	・今月に入っても、客足はあまり伸びていない。
	一般小売店〔結納品〕(経営者)	単価の動き	・年明けからずっと景気は悪くなっている。
	一般小売店〔酒類〕(経営者)	販売量の動き	・飲食店でのアルコール類の販売量が、前年同期比で1割減少している。
	百貨店(経理担当)	販売量の動き	・衣料品を春物商材へ切替えているが、今月上旬から中旬の寒波で動きが鈍い。
	百貨店(販売促進担当)	来客数の動き	・来客数がボリュームゾーンの客層で落ち込んでいる。
	スーパー(商品開発担当)	来客数の動き	・来客数は前年同月比98%で、3か月前と比べて2%も下がっている。売上も同様に、前年同月の98%とあまり良くない。
	スーパー(販売担当)	販売量の動き	・売上が伸びる材料が何もなく、期待が持てない。
	コンビニ(企画担当)	販売量の動き	・売上と同様に、来客数も前年割れの店舗が増えてきている。
	コンビニ(店長)	来客数の動き	・朝晩の気温が例年よりも低いいためか、来客数が減少している。
	コンビニ(店長)	来客数の動き	・前年同期比で売上、来客数共に15%ほど落ち込んでいる。天候の影響もあるが、近くに競合店が進出し非常に厳しい状況である。
	衣料品専門店(販売企画担当)	お客様の様子	・アパレル関係の同業他社からも取引先からも、売行きが落ち込んでいるという声を聞く。
	家電量販店(店員)	来客数の動き	・来客数の減少が前年から続いている。少子高齢化や購買層の減少等、様々な要因はあるが、店舗へ実際に足を運ぶ客が減っている。
	乗用車販売店(経営者)	競争相手の様子	・自動車販売店のセールスの仕方、消費者のニーズや生活環境等、様々な変化するなかで、販売店が存在感を保ち続けることは難しい。
	乗用車販売店(従業員)	お客様の様子	・客との会話ではマイナスな話題が多くなっており、少しずつ悪くなっている。
	その他専門店〔書籍〕(店員)	来客数の動き	・2月は、雪の日やインフルエンザによる学校閉鎖もあった。図書カードの販売は卒業シーズンのお祝いとして予想以上に伸びたが、それ以外の書籍等は厳しく、全体の売上は前年同月を1割ほど下回っている。
	一般レストラン(スタッフ)	来客数の動き	・1月の不調は天気の影響かと思っていたが、2月に入ってから週末の客足は、特に日曜日が鈍い。
	観光型ホテル(経営者)	来客数の動き	・昼食、夕食の来客数が伸び悩んでおり、3か月前と比べてやや悪くなっている。宿泊に関しては、大口の団体客を受けているが、予約の時期は以前であり、時期的なものや旬な話題性にも左右されるため、景気の影響があるかを判断することが非常に難しい。
	観光型ホテル(販売担当)	来客数の動き	・3か月前は、特需ともいえる大型宴会の受注があり全社的に良かったが、今月は、宿泊部門は低めに設定した予算の達成がやっとで前年実績には届かず、食堂部門も全般的に低迷している。
	旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・今年度の受注量は例年に比べて少ない。客と話をしているにもかかわらず、あまり良い話は聞かない。
	理美容室(経営者)	来客数の動き	・例年2月は暇な時期であるが、例年以上に暇である。
	美容室(経営者)	来客数の動き	・年末年始のイベント時期と、卒業式や入学式等、春のイベント時期との間となり、客足はどうしても鈍くなる。
	設計事務所(職員)	お客様の様子	・客の話を聞いても、景気の良くなるような話題はなく、景気の話よりも一般的な話題に終始している。
	その他住宅〔住宅管理〕(経営者)	単価の動き	・原材料費の上昇分を販売価格に転嫁できず、仕事量の割には利益率が悪い。景気が回復しているとは感じられない。
×	衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・2月はある程度覚悟をしていたが、なじみ客、一見客共に、これまでにないほど来客数が少ない。
×	一般レストラン(従業員)	お客様の様子	・寒かったり雨が降ると客足が鈍る。今月は特に天候の悪い日が多いため最悪である。
×	パチンコ店(経営者)	販売量の動き	・来客数や客単価の動きが悪くなっている。
×	美容室(経営者)	来客数の動き	・3か月前は正月前にパーマをかけたり毛染めをする客が多かったが、この時期は期待ができず、景気は悪い。

	x	理容室（経営者）	お客様の様子	・50年来のなじみ客が安い店に流れており、どうしようもない。
	x	住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・当社も競合先も、広告を出してもなかなか売れない状況である。
企業動向関連		*	*	*
(東海)		化学工業（人事担当）	それ以外	・我が国の景気は着実に上向いている。特に最近は何れも倒産件数も少なくなっており、景気の良さを反映している。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・米国の景気対策への期待もあり、直近の受注状況には大きな懸念はない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・放送、通信業界では設備投資意欲が高まっており、WiFi等、高速無線通信の関連機器の販売が増加している。これに対抗して、ケーブルテレビ業界でもFTTH等、高速化に向けたインフラ投資計画が進んでいる。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・製造現場では稼働率が上がってきている。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	それ以外	・人材派遣会社に頼んでも人材が確保できず、期間限定の社員を募集しても応募がない。それだけ景気が安定して良くなっている。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・中国の建機需要が回復しており、中国にある日系建機メーカー向けの部品輸出が増えている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・輸出が増えている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・貨物の荷動きが前年同期比で6.1%の増加と良くなっている。
		通信会社（法人営業担当）	それ以外	・10年以上も住宅の新築がなかった町内で、ここ2～3か月の間に4軒も着工している。身近な様子では、少し景気が上向いている。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・建築業や自動車産業においては、若干ではあるが上向き傾向である。東京オリンピック等の影響もあり、建築業等は今後も良くなっていく。
		金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・取引先の自動車部品メーカーでは生産量が増加している。
		会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・飲食店や美容院は来客数の減少が続いているが、製造業では売上、利益共に上向いている。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	取引先の様子	・案件の規模が大きくなり、開発要員の増員や請負範囲の拡大につながっている。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量の動きは、3か月前と比べるとやや落ちてきているが、前月と比べれば大きくは変わらない。
		食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・食品に関する消費動向は、依然として厳しい。
		化学工業（総務秘書）	それ以外	・週末のスキー場へ出かけると、どこも盛況である。リフト代、昼食代や交通費等で相当の出費となるが、混雑するグレンデヤレストランの様子から景気の好調さを実感する。
		窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・年度末の予算消化と見受けられる注文は例年より多いが、全体としては活気が感じられない。
		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に、今年に入ってからは前年並みで一向に伸びない。メーカーの一方的な値上げにより、仕入価格だけが10%以上上昇している。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量はほぼ横ばいである。引き合いも頭打ちで今一つ良くない。
		一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・引き続き不透明感が漂うものの、メキシコ向け設備投資案件では、動き始めたものもある。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・マンション、戸建住宅共にまずまずの売行きである。モデルルームへの来場者数も堅調である。
		輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・3か月前と変わらず2月も重量当たりの運送単価は前年割れをしており、景気の流れは変わらない。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・運ぶ荷物の量は増えているが、それを運ぶ人が集まらない。
		通信会社（法人営業担当）	それ以外	・ドル建てで買物をしたので月初から円相場を注目しているが、やや円安にはなったが、米国の政治情勢に大きく左右されることもなく、経済が大きく動いているとは感じられない。

	金融業（企画担当）	取引先の様子	・米国の新大統領の就任後は、株高、円安で個人投資家の資産価値は高まっているが、株、為替共に上下動があり投資が活発になっているとまでは言えない。
	不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・ここ数月は売買件数も増えず、価格も横ばいとなっている。経済対策の効果も、实体经济には波及していない。
	不動産業（用地仕入）	競争相手の様子	・当社を含め他社の販売価格にも変化がない。
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・全体的に広告出稿量はあまり変わらず、売上としても、厳しい状況が続いている。
	行政書士	受注量や販売量の動き	・出荷量がふだんの動きと変わらない。
	公認会計士	それ以外	・客先の中小企業には収益性の改善がみられず、社員の給与・賞与も増えていない。
	会計事務所（職員）	競争相手の様子	・年度末に入り建設土木事業者は活況の時期であるが、受注量は前年と比較してほぼ横ばいである。公共工事は予算が決まっているため、大口工事がこれから大量に発生することはない。
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・全体的には何も変化はなく、あまり良くない状況が続いている。現場の声は営業所によって異なり、良いところと悪いところのばらつきが大きい。競合他社も今月前半は良くないと言っている。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・特定の客先の業種が悪いわけではなく、全体として受注量、販売量が4～5%ほど減少している。
	化学工業（営業）	受注量や販売量の動き	・2月は、供給面では化学メーカーが定期修理で休止し、需要面でも、12～1月にあった旧正月前の在庫積み増し需要がなくなっている。
	金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・プロジェクトの谷間で仕事量があまり見込めない一方で、金属材料の値上げが続き、収益圧迫が心配である。
	x 電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・客先の業界全体が悪いなかで製品の低価格競争が激しくなり、売上、利益共に大幅に減少している。
雇用関連	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・求人数は、前年比、3か月前比共に約3割の増加となっており、2月の受注数としては過去最高を記録する等、好況となっている。
(東海)	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣先企業では派遣スタッフの直接雇用化の動きが活発である。
	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・各業種の企業が採用活動を活発化させて、有効求人倍率が上がっている。求職者もこの機会を逃さないよう活発に動いている。
	アウトソーシング企業（エリア担当）	採用者数の動き	・採用者数の増加をみても、客先の生産量は増加している。
	民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・4月1日入社に向けて、採用側の企業と転職希望者の意欲に相乗効果がみられ、採用決定者数は増加している。
	民間職業紹介機関（窓口担当）	求職者数の動き	・求人数の増加に対して求職者数は変わらず、直接雇用でも採用決定件数が増えている。
	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・周りの企業の様子にも、大きな変化の兆候はない。
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・年度末が近いこともあり、転職希望者の動きが徐々に活発になってきている。
	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・米国の新大統領の影響で、景気の動きが不透明である。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・新規の求人問い合わせが増加しているが、全体としては大きな景況感の変化は感じられない。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・足元の新規求人数は、11か月ぶりに前年同月比マイナスとなり今後の動向に注視が必要であるが、求職者は依然として減少が続いている。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求人、求職の状況に大きな変化はみられない。雇用、経済情勢の安定を背景に、事業主都合による離職者や期間の長い離職者等は減少が続いている。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・大きな変化はないものの、新規求職者が前年同月比で22か月ぶりに増加し、会社都合の離職者も増加がみられる。
	民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・労働環境の改善に関心を持つ経営者が増えており、増員や派遣から正社員への雇用形態等、具体的な変化につながれば、求人数にも影響する。

	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・例年2月はあまり良くない月だが、今年は前月が良すぎた反動か、例年以上に悪くなっている。
	新聞社 [求人広告] (営業担当)	周辺企業の様子	・人手不足はかなり深刻で、年明けから人材採用への予算を確保できない企業が出てきている。
x	-	-	-